



まなキキ通信

銭湯のごとく、熱々の地域連携が進んでるんだよ号

2024年3月発行

発行：Learning Crisis研究会

お問い合わせ：fosterplan@learningcrisis.net



THANK YOU

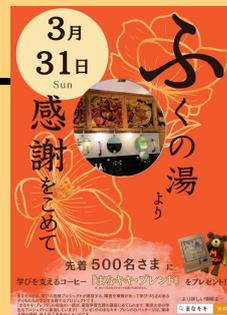


東洋大学近くの銭湯 ふくの湯さんと コラボ企画が実現！

3月31日、銭湯にて
まなキキ・ブレンドを500個
配って頂きます。



先着順で～す♪



社会科見学イベントからのご縁で・・・。

Learning Crisis研究会 広報担当 濱松若葉（えーあい先生という噂も・・・。）

2月に文京区の養源寺さんにて開催した『学びの危機カンファレンス』では、まなナビ（大学生・大学院生）による教材報告とともに、オンライン社会科見学を実施しました。沖縄県宜野湾市のワーカーズホームカフェと養源寺をオンラインで結び、仕事の最新状況を代表理事の横山順一さんに教えて頂きました。イベントの広報にあたって、M先生が東洋大学近くのお店や公民館などに、チラシ掲示のお願いをしていたのですが・・・なんと、そのご縁で知り合った「ふくの湯さん」が、「まなキキ・ブレンドの味が美味しかったから、お客様にお配りしたい」と、コラボ企画を提案して下さいました。3月31日にお風呂に入ると、まなキキ・ブレンドを受け取れるという身体も心もほっこり温まる熱い企画です！！美味しいコーヒーとして評価し、社会に広める応援を頂けますこと、この場をお借りして心より御礼申し上げます。是非、皆さま、東京にお越しの際は、ふくの湯さんへ！！一富士二鷹三茄子の運気が上がりそうな絵も素敵な銭湯です。

能登半島地震支援のご報告

Learning Crisis研究会 代表 柴田邦臣



Learning Crisis研究会は、代表・柴田の東日本大震災支援が土台となっています。今回の能登半島大震災に対してメンバーで情報収集しつつ、柴田を現地統括として、1月10日より3度にわたって先遣隊を派遣、物資支援等を実施しました。現在は輪島市門前町に長期派遣し現地NPOや金沢大学学生等と連携、被災物撤去や居場所支援などの活動を継続しています。まなキキ・プロジェクトとは一部独立し「災害情報支援チーム」を派遣しますが、必要に応じて連携して進めます。「ふくしまキッズプロジェクト in こだいら」さまから募金をいただき、また「まなキキ・ブレンド」でも「能登支援パック <https://manakiki.handcrafted.jp/>」を開催中です。みなさまのご支援をお願い申し上げます。

ぱんこさんからの報告 パンの家ラ・ママンさんとの連携

昨年度の学園祭では、東京都国分寺市にあるパン屋のラ・ママンさんとコラボして、まなキキパンを開発・販売しました。まなキキパンは、家庭学習支援で学んでいる皆さんから「食べてみたいパン」のアイデアを募集し、それをラ・ママンさんに実現してもらった特別なパンです。応募してくださった皆さん、また丁寧にパンの開発をしてくださったラ・ママンの皆さん、本当にありがとうございました！パンにはまなキキ・ブレンドやまなキキ・ナッツブレンドも使われていて、子どもたちと学生と地域の方々、さまざまな人たちがつながることのできた企画となりました。何より、完成したパンの美味しさと言ったら、絶品でした！

～富という漢字を分析しよう～

富
音読み：「フ？」
くん読み：「フ？」

五箇山の合掌造り集落
「白山」と共に「世界文化遺産」に登録されている。
・名には2～3mもの雪が積もる
※雪を溶かしやすくするために屋根が急になった！
・約4000年前の縄文時代から人が住んでいた！

おもちさんからの報告 フォスタープラン

学びのナビゲーター、通称「まなナビ」のおもちです。いつもあたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。

フォスタープランでは、オンライン上で家庭学習支援を行っており、私は北陸に住むお子さんを担当しています。まなキキに参加しなければ出会えなかった、素晴らしい出会いに感謝です！この活動では、お子さんに合った、いわばオーダーメイド型の教材を作成・使用するのですが、時には教材作りに苦戦することもあります…。そんな時でも、私が担当するお子さんは、どんなことにも興味を持って、一生懸命取り組んでくれるので、やりがいを感じる瞬間です。今後も、少しでもお子さんの夢やワクワクする気持ちが膨らむようなお手伝いができると思っています。

東洋大学白山祭の 報告&ここだけの裏話

河合さん・石田さん・山本さんから



昨年は、まなキキとして初めて白山祭に出店しました。前例がない上、始めの頃は東洋大生も少なく、準備を進めるのは正直本当に大変でした。私自身、まなキキの活動はとても素晴らしいと思い、感銘を受けた内の一人だったこともあり、どうしたらまなキキの活動を多くの人に知ってもらえるのか、とずっと悩んでいました。他大学の方々や、東洋大学の先輩方がたくさんのアイデアを出してくださりました。そのおかげで、当日はたくさんの方に来ていただきました。まなキキの活動を知ってもらうことができ、応援の気持ちや言葉をかけてもらい、白山祭は大成功でした！その後、白山祭をきっかけに、白山地域での活動も広がり始めています。大変なこともありましたが、私にとっても、まなキキにとってもよい白山祭だったと思います。まだまだ、まなキキの活動は続いていきますし、私も成長していくので、これからも応援よろしくお祈りします！

ばいんこと、河合美実香さん

東洋大学の石田です。白山祭では、店内の装飾やイラスト作成、看板のデザインをさせていただきました。装飾やデザインを作成するにあたって強く意識したのは「おしゃれさ」と、「わかりやすさ」の線引きをはっきりさせるということです。様々な人が訪れる「文化祭の展示・お店」として、誰が見ても「わかりやすい」デザインにする必要があったため、色の配色や文字の配置を活用してデザインを行いました。最近では、間接的に、粹に情報を伝える、つまり、直接的に物事を伝えない、和歌や短歌のようなデザインが増えています。しかし、白山祭を通して、状況や環境に合わせたデザインを製作者自身が選び、制作できる必要があると改めて感じました。

石田達也さん

東洋大学卒業生の山本です。まなキキは今年度、東洋大学の白山祭に初出店し、パンとコーヒーを販売しました。私自身も出店側で白山祭に関わるのは最初で最後となり、貴重な思い出になりました。当日は、可愛く装飾された教室に、パンがずらっと並び、コーヒーのいい香りが立ち込めました。パンは大好評で売り切れ続出でしたが、老若男女皆さんが、コーヒー片手に漢字クイズに挑戦される姿が印象的でした。白山祭後も、「まなキキのコーヒーやナッツが美味しかった」と声をかけていただくことが多々あり、東洋大学の学生や地域の方に、まなキキの活動やまなキキブレンドの美味しさを知っていただくきっかけになったのではないかと嬉しく思っております。

山本明望さん



こうした活動は、「公益財団法人小林製薬青い鳥財団2022年度助成」ならびに、「公益財団法人日本漢字能力検定協会2023年度漢字・日本語教育研究助成」を受けて実施しています。両法人の皆さまにこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。